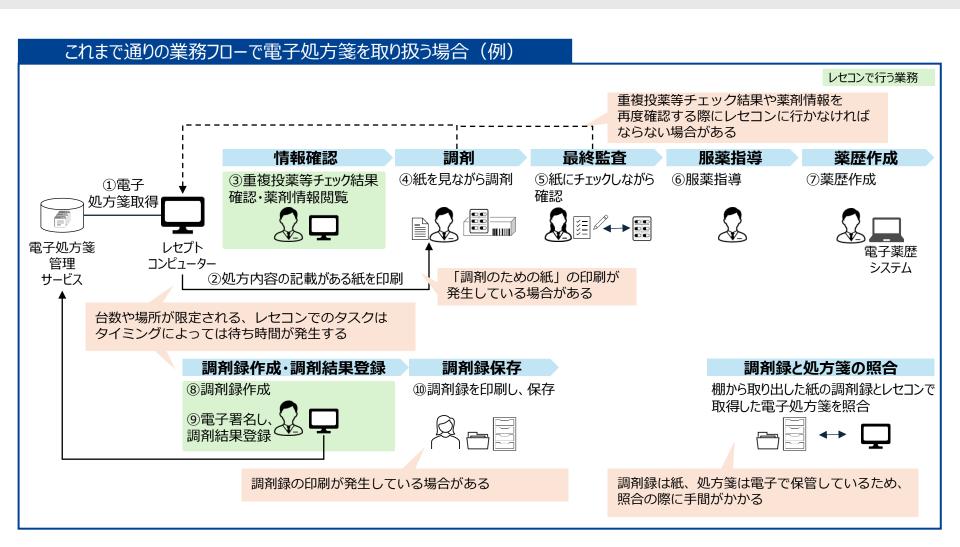
【薬局】電子処方箋導入後の運用課題と運用改善後の業務フロー(1/2)

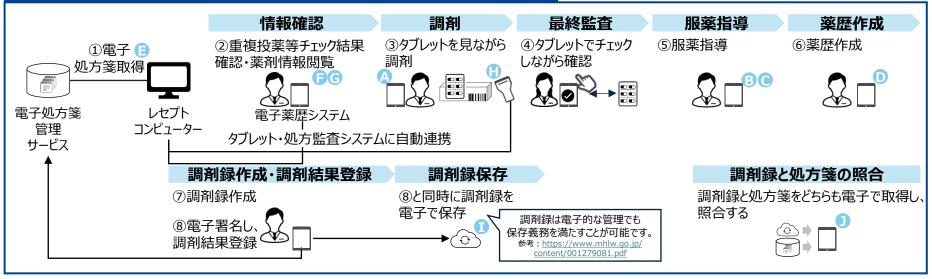
電子処方箋導入による業務効率化や紙資源の削減などの恩恵をより受けるために、システム事業者とも連携し、ご自身の施設状況に合わせた運用の見直しをお願いいたします。



【薬局】電子処方箋導入後の運用課題と運用改善後の業務フロー(2/2)

電子処方箋導入による業務効率化や紙資源の削減などの恩恵をより受けるために、システム事業者とも連携し、ご自身の施設状況に 合わせた運用の見直しをお願いいたします。





【運用改善のポイント】

※電子処方箋の効果を最大限受けるための例です。実際の運用は薬局に応じて判断ください。

タブレット端末の導入

タブレットは例えば下記のような使い方ができます

- △調剤時の様子を録画して、患者からの問い合わせ時等に確認する
- ■服薬指導項目を表示し、確認したらチェックを行う
- ○服薬指導でヒアリングした内容を記入する
- ▶️●音声入力機能を使って、薬歴作成時間を短縮する

またタブレット(電子薬歴システム)とレセコンの連携を行うとより便利です

- □ 患者の受付後すぐに調剤を開始できるので、患者の待ち時間を短縮できる
- 低の代わりにタブレットで調剤・最終監査が実施できるので、紙の印刷が一切不要になる
- ⑥処方箋の取得から調剤結果登録まで手元のタブレットで一気通貫で実施ができ、業務が効率化する

電子薬歴システムへの調剤録作成機能の追加

- □調剤録をシステムで管理・ 保存できるため、<u>調剤録の</u> 保管場所の確保が不要に なる
- ①処方箋と調剤録の<u>情報の</u> 照合がしやすい

レセプトコンピューターと 周辺機器の連携

【薬局】運用改善後の業務事例

すでに運用改善を行い、業務効率化や経費削減等の効果を創出している薬局の事例をご紹介します。是非運用を見直す際に 参考にしてください。

ウエルシア薬局田町グランパーク店

- 調剤から薬歴作成、調剤録作成まで手元のタブレットで 実施可能なため、業務を効率化できた
- レセコンの情報がバーコードリーダーや監査システムに連携している ので、薬剤・用量間違いを防ぎやすい
- 電子調剤録を導入することで、調剤録の保管スペースが不要になった



あすなろ薬局

- タブレットの導入により、調剤のために処方内容を印刷する必要がなくなり、紙資源分の経費削減につながった
- 薬歴記入をタブレットでできるため、レセコンの入力待ちがなくなり、 業務をスムーズにできるようになった



https://www.mhlw.go.jp/content/001248466.pdf